

鹿児島県の家きん農場で 高病原性鳥インフルエンザが続発！！

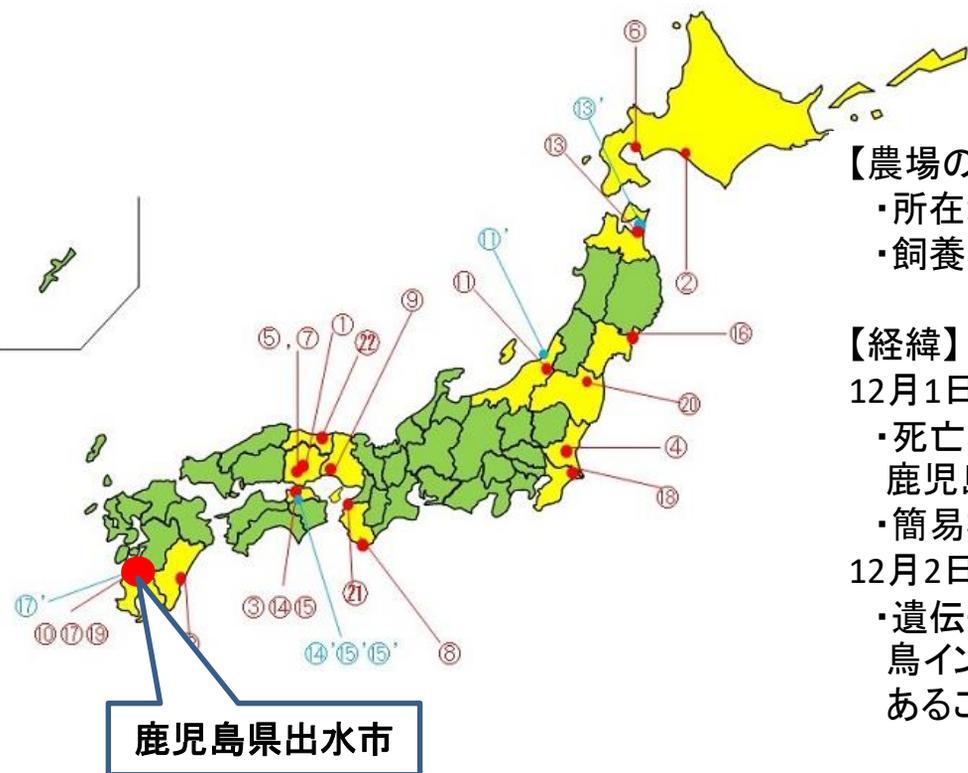
12月2日、鹿児島県出水市の家きん農場で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の疑似患畜が確認されました。

国内の農場や家きん飼養施設におけるHPAIの発生は今シーズン23例目、鹿児島県での発生は4例目となります。

また、野鳥で73例、飼養鳥で2例、HPAIウイルス陽性が確認されています(12月1日現在)。

鶏などの家きんを飼われている皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策と異常発見時の早期通報をお願いします。

今シーズンのHPAI発生状況



【農場の概要】

- ・所在地 鹿児島県出水市
- ・飼養羽数 約12万羽(採卵鶏)

【経緯】

12月1日(木)

- ・死亡羽数増加の報告を受け、鹿児島県が農場に立入検査
- ・簡易検査を実施し、陽性を確認

12月2日(金)

- ・遺伝子検査の結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認

京都府山城家畜保健衛生所 TEL:0774-52-2040(夜間・休日転送)
FAX:0774-52-2030

農場周辺の**高病原性鳥インフルエンザ**のウイルスが **非常に多くなっています！**

全国的に高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。
これまで以上に、本病の発生予防を徹底しましょう！

**家きん舎への人や、野生動物によるウイルスの侵入を防ぐことが
特に重要です！**

発生予防対策の特に重要なポイント

- 農場内や家きん舎周囲の**消毒は毎日**行いましょう！
- 家きん舎等への出入り時に**消毒の実施・長靴の交換が適切にできているか、動線が交差していないか、今一度、点検・確認**をお願いします！
- **長靴はしっかり汚れを落としてから消毒し、踏込消毒槽などの消毒薬は少なくとも毎日、汚れたらその都度、交換**しましょう！
- 農場内や家きん舎の周囲には**ウイルスが侵入する経路が多く存在していますので、今一度、点検・確認**をお願いします！

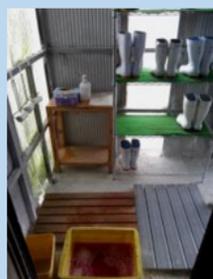
ため池等の水場を
意識し、その近く
は徹底して消毒！

衛生管理区域内の
野生動物対策



農場内や家きん舎周囲
の消毒は毎日実施

家きん舎入口の人・物対策



専用長靴の設置
交差汚染防止



消毒薬は毎日
又は汚れたら
その都度交換



長靴は汚れを
落としてから消毒

衛生管理区域入口の
人・車両・物対策



専用の服・
長靴の使用 車両・手指・
物品消毒の徹底

家
き
ん
舎

家きん舎の野生動物対策



集卵ベルト等の
開口部の隙間対策



防鳥ネットや
鶏舎破損の補修

◆ 飼養家きんの毎日の健康観察を念入りに行い、異状を見つけた場合は、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に連絡してください。

農林水産省HP「鳥インフルエンザに関する情報」→

